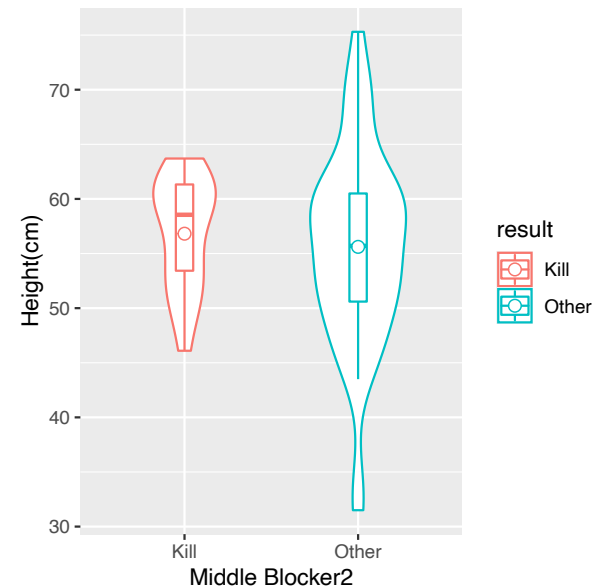
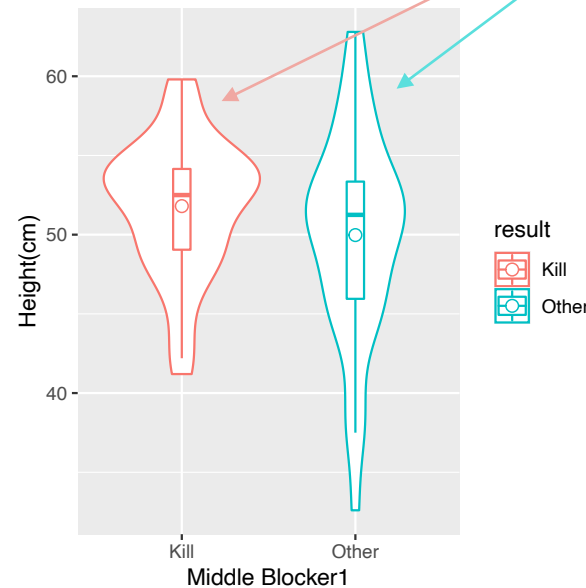


スパイクにおける跳躍高と攻撃結果の関係

日本バレーボール学会 第27回大会
沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷@鹿屋体育大学



目的 跳躍高と攻撃結果の関係を検証すること

対象 大学女子選手3名 (OH1名, MB2名)
2021年大学秋季リーグ5試合17セット

結果 3名に有意な差は認められなかったが、左図から予想するに一定の範囲で攻撃が決定している可能性がある。

図1. 攻撃結果別の各選手における跳躍高の分布

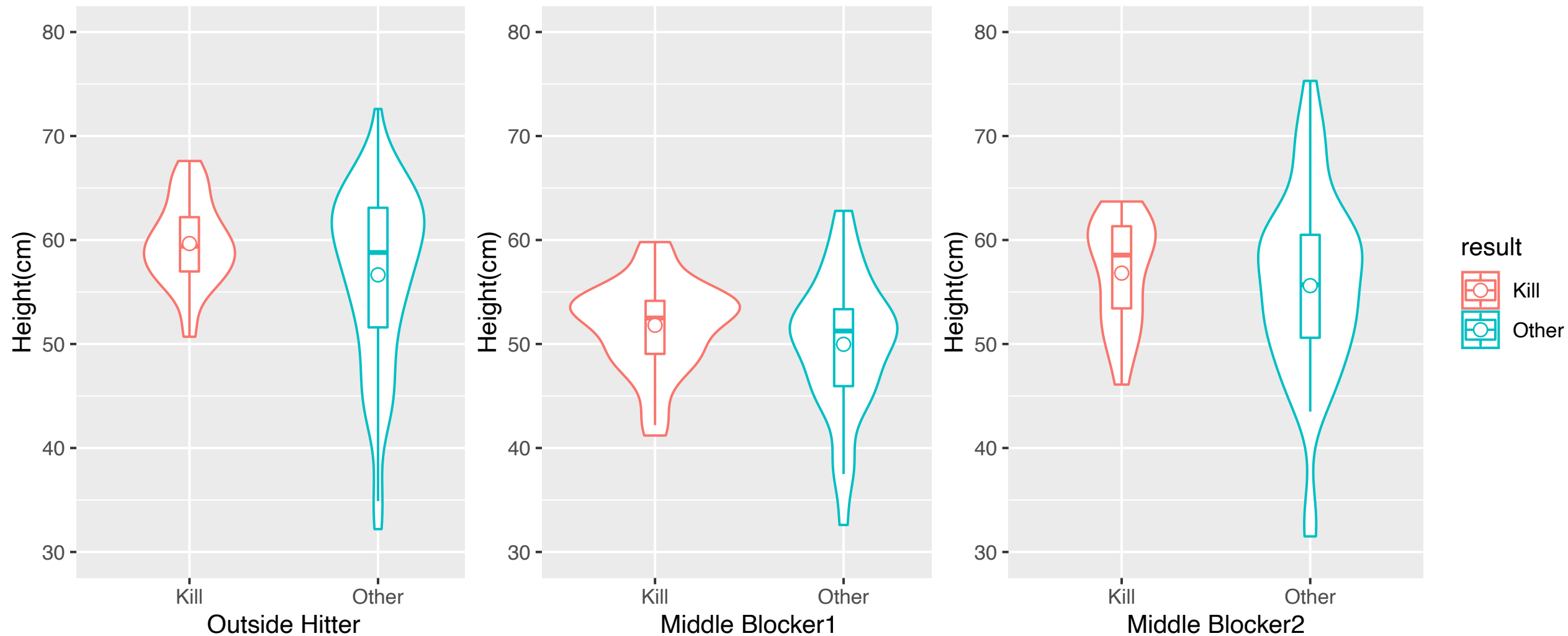


図1. 攻撃結果別の各選手における跳躍高の分布

バイオリンの面積が観測数に比例するように調整. 真ん中のボックスは箱ひげ図 (箱の真ん中の線が中央値, ボックスの上底が75%, ボックスの下底が25%, ひげの上側末端が最大値, ひげの下側末端が最小値, 白丸が平均値を示している).

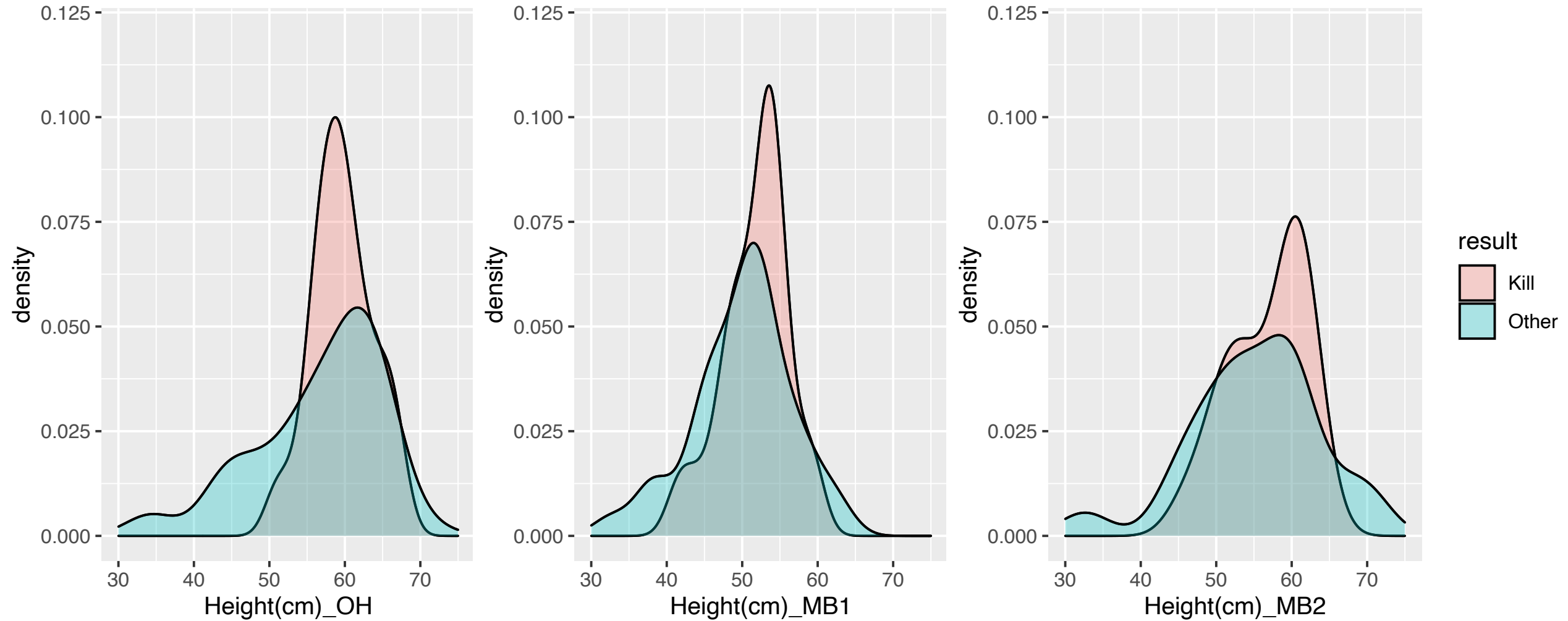


図2. 攻撃結果別の各選手における跳躍高の密度曲線

密度 (density) 曲線は基本的に面積が1になる.